今金高等養護学校マラソン大会

10月15日、今金高等養護学校マラソン大会が行われました。早朝まで降っていた雨も、マラソンスタートの合図が鳴る頃にはすっかりあがって、晴天のマラソン日和となりました。しっかりと準備体操を終えた生徒たちは、3、5、7、10kmの４つのコースに分かれて順番にスタートをしました。途中疲れた表情を見せながらも沿道で応援している人や、伴走に付いている先生から「がんばって」「あと少しだ」と声をかけられ精一杯走っていました。



特殊詐欺防止街頭啓発



10月15日、今金郵便局前にて、年金支給日に合わせた特殊詐欺防止街頭啓発が行われました。昨年の北海道での特殊詐欺の件数は認知されているだけで183件、被害総額４億9778万円にもなります。その様な状況もふまえ、せたな地区地域安全活動推進委員とせたな警察署員らにより、郵便局を訪れた方に特殊詐欺防止グッズを手渡し注意喚起を行いました。

和牛審査研修会

10月25日、町内鈴金地区の佐藤弘一さんの牛舎敷地内において、道南肉用牛振興協議会主催の和牛審査研修会が北海道酪農畜産協会の職員を講師に招いて開催されました。この研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響により２年連続で共進会が中止となり、関係者との関わりが減少し、和牛生産者の改良意欲の低下が懸念されていることから、生産者同志の改良意欲を維持向上させるために開催されました。研修会では、町内３つの生産者から５頭の黒毛和種が集められ、毛刈り・調教・引き付けに関するアドバイスや、和牛審査のポイントが説明されました。

参加者は、講師の説明をメモにとりながら意欲的に研修に取り組んでいました。



乳用牛ジャッジング研修会



10月20日、菊地千春牧場にて、今金町ホルスタイン改良同志会主催のジャッジング研修会が開催されました。最初に会長の菊地章太さんからの挨拶があり「コロナ禍の中でも改良の意識を持ち続けるきっかけとなるよう、この会を開催しました」と会の趣旨を述べられました。ジャッジング研修はまず講師の黒松内町在住の酪農家、佐々木誠崇氏によるジャッジのポイントの説明がおこなわれ、その後は毛刈りをして綺麗になった未経産牛、経産牛を参加者全員でジャッジし講評を発表しました。当日はあいにくの雨で室内開催になりましたが、参加者の酪農家は皆非常に熱心に研修に取り組んでいました。

今月の特集
行政情報
各種情報
まちの話題
情報かわら版
まちの行事予定
学びの道標べ

ＴＯＰＩＣＳにも掲載されております
gyousei/event/topics3/

一日防災学校

10月27日、今金中学校にて一日防災学校が行われました。この取り組みは、同校の生徒が安全に関する資質・能力を育むことができるように防災教育を推進するため、地域コミュニティーの核となる学校において、家庭や地域と連携して実施するものです。

一日防災学校では避難所設営体験、避難所運営ゲーム、胆振東部地震に派遣された消防士の講話、災害食調理体験、避難訓練（地震）が行われました。避難所設営体験ではテントとベッドの組み立てを行いました。設営を終えた生徒からは「組み立てるのが難しかった」「テントの良さがわかった」と体験を通して災害時における避難所設営に関する理解が深まったとの感想も聞かれました。



今金小学校マラソン記録会



10月25日に今金小学校でマラソン記録会が行われ、校舎からスタートして国道230号線を種川方向に向かい、折り返し地点から学校に戻って来るコースを走りました。

この記録会は、子どもたちの持久力や忍耐力の向上、励ましあったり競い合う姿勢、目標に向かって粘り強く取り組む心を育てることを目的として行われています。

１・２年生が1000m、３・４年生が1500m、５・６年生が2000mを走り、子どもたちは自身の目標タイムを目指して長い距離を一生懸命に走り、沿道では多くの保護者や、近所の方が「がんばって」「あともう少しだ」と声援を送っていました。

Re★Start いまかねののぼり

「Re★Startいまかね」と書いたのぼりが今金町内のお店の前に設置されています。これは、コロナに負けずアフターコロナに向けて今金町商工会が一丸となって頑張っていこうという思いを込めて、10月の打ち上げ花火を主催したRe★Startいまかね委員会（今金町・今金町連合町内会・今金町商工会・今金町観光協会）が作成したもので、約30カ所の事業所に設置されています。

同実行委員会の小林洋伸商工会事務局長は「コロナの状況を見て、はしご酒などのイベントも再開していきたい」と話していました。



「道民家庭の日」絵画コンクール2021特別賞受賞



11月１日、今金小学校にて「道民家庭の日」絵画コンクール2021特別賞（キューピー賞）の賞状贈呈が行われ、賞を受賞した今金小学校５年生近藤李莉さんが受け取りました。

この絵画コンクールは道内の小学生・中学生を対象として、家族団らんの様子、食卓の様子、家事や仕事の手伝いをしている様子、旅行の様子など、家族の交流やほのぼのとした心温まるふれ合いの情景をテーマに募集されたものです。

受賞作品は、札幌駅前通地下広場や北海道青少年育成協会ホームページにて展示公開される予定です。

※上記の記事はホームページ・
http://www.town.imakane.lg.jp/